

2021年度 武庫川女子大学大学院

臨床教育学研究科

男女共学

修士課程 | 夜間開講

博士後期課程 | 昼夜開講

さまざまな入試制度

- ▶ 個別入学資格審査
- ▶ 現職教員・
対人援助職特別選抜

仕事と学びの両立支援

- ▶ 長期履修学生制度
- ▶ 中央図書館21:30まで開館
- ▶ 保育ルーム利用可

入試説明会
Orientation for
entrance examinations

11/14

臨床教育学研究科の授業終了後
16時30分開始予定

オープン
キャンパス 12/6(日)

※入試説明会を実施します



複合的な視点からの研究が可能に！

～一人一人の問題意識を3領域の教員が総合的に指導します～

大きな社会変化に伴い、子どもを取り巻く環境は急速に変容しています。子どもの育ちをサポートする大人たちも、その変化に対応すべく、教育や支援のあり方を模索してきました。その過程で、不登校児に対する教育・支援にしても、教師や学校だけで、あるいは教育学という観点のみから児童・生徒らの状況を理解し、対策をたてることは難しく、多様な職種(カウンセラー、ソーシャルワーカー、医療機関、行政等)と学問領域(心理学、福祉学、精神医学等)からの複合的な取り組みの必要性が分かってきました。

このような取り組みは、今日では当たり前になっていますが、“臨床教育学研究科”では1994年より、教育学・心理学・福祉学からなる学際的・複合的なアプローチを先駆的に採用しました。さらに、“臨床”の場で子どもを支援する様々な専門職が集まり、経験を活かしながら多角的に事例を検討し、理解し合うことを目指して、働きながら学べる夜間制大学院としたのです。その後、社会人学生からの様々な要望を受け、学校のみならず福祉や医療の現場で活動されている“対人援助職”の方々にも対応できるようカリキュラムの改善に努め、今日に至っています。よって、本研究科で学ぶ社会人は、学校関係者の他、心理職や福祉職、看護職、さらには司法関係者にも広がっており、専門職種での議論や学び合いが修了生の満足につながっています。

四半世紀に及ぶ歴史をもつ臨床教育学研究科では、474名の修士課程修了者を輩出し、博士号取得者は72名を数えます(2019年度末時点)。今後とも、学際的な観点から、“対人援助職”の皆さんが抱える課題をともに考え、専門領域を超えて学び合う環境を整えるとともに、最新の学術的成果を取り入れながら、社会のニーズに応える教育を進めてまいります。

皆さまとともに学び合えますことを、研究科教員一同、楽しみにしております。

武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科
研究科長 安東 由則

求める学生像 (アドミッション・ポリシー)

主として学校教員、福祉などの専門機関や施設、病院、企業、行政などで対人援助にかかわる専門職にあり、教育学、心理学、福祉学の各分野から、乳幼児から高齢者までの各ライフステージにおける、発達・適応援助に関する理論的・実践的・臨床的研究を志す者を求めます。実践現場からの視点だけでなく、総合的・学際的な専門知識と実践能力を身につけ、修了後も引き続き現場でその能力を発揮しようとする者を歓迎します。

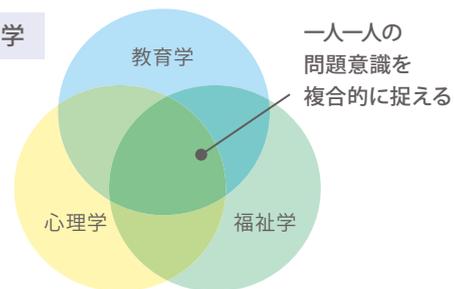
教育課程の特色 (カリキュラム・ポリシー)

「教育学」「心理学」「福祉学」の3関連分野からなる教育課程が編成されています。「臨床教育学総合演習」では、受講生の現場での問題に対して、3分野の教員がそれぞれの視点からスーパーバイズする、複合的な学習を試みています。

必修科目の「実地研究」では、指導教授ごとに任意の臨床現場を見聞し、学生自らの経験と対照させながら議論することで、現場への理解をより深めることを目指します。

臨床教育学の概念図

臨床教育学



大学院に在籍する人が関心を持つ課題を従来の領域別ではなく、3分野の教員が総合的に指導します。3分野の複合的な視点から興味関心を考え研究する能力が身に付きます。

取得可能な資格

専修免許状が取得できます！

- 幼稚園教諭
- 中学校教諭
- 養護教諭
- 小学校教諭
- 高等学校教諭

※当該免許状に係る各校種、各教科の一種免許状を有し、修士課程において必要な科目及び単位数を取得すること。



専攻分野

本研究科は臨床教育学研究科として全国で初めて設立された大学院です。「修士(臨床教育学)」、「博士(臨床教育学)」と、臨床教育学を記した学位を授与する大学院は本研究科だけです。従って臨床教育学という新しい学問分野の開拓者、先駆者たる自負をもって、教員も学生も努力しています。本研究科修士課程においてはこの新しい専門分野の専門職の養成と再教育を主とし、博士後期課程においては高度な専門職養成に加えて研究者養成も行っています。すでに博士号を取得し、研究職として活躍している方も多数おられます。(この他、博士後期課程には、昼間開講の教育学分野と臨床心理学分野があります)



▲ゼミの様子



▲研究発表

夜間制・主として社会人対象

修士課程と博士後期課程(臨床教育学分野)については、夜間開講を実施しています。1日2時限というカリキュラム上の制限があるので、土曜日の午後も利用して授業を行っています。夜間開講は、有職の社会人の学ぶ意欲に応えるものです。有職の大学院生は、それぞれの職場での勤務を終えた後、大学院の講義や演習、特別研究(論文作成)などの授業に臨んでいます。社会人としての様々な経験や実践を踏まえながら、大学院で学び合うことで、新たな対人援助技能や高度な研究能力・教育能力の研鑽を行っています。



▲授業の様子



▲ゼミの様子

多様な学生による異文化交流

社会人を主とする本研究科の大学院生は、職業、職位、年齢、学修歴などにおいて、とりわけバラエティー豊かです。それぞれの職場での勤務を終えた後、午後6時10分から始まる授業に駆けつけ、熱心に臨んでいます。様々なライフ・ヒストリーをもった社会人たちが、大学院に自分たちの経験を持ち寄り、互いに交流することは、異職種・異文化交流ともなっており、幅広い視野、多様な情報、新鮮な刺激が得られます。こうした環境は、社会人学生はもとより大学からストレートに進学した学生や現場経験の浅い学生にとっても、大きな刺激となっているようです。在学中に育まれた学生間のネットワークは、修了後も続いています。

学際的な教育と研究

本研究科は、複雑な教育問題や福祉問題、そして看護など医療現場における対人援助のあり方の解明にあたって、学際的な研究方法と教育課程を採用しています。

修士課程においては教育学・心理学・福祉学を三本柱としています。学生それぞれの関心や研究テーマを尊重しつつも、巨視的、学際的な視野から、アプローチする態度と能力を養うよう、カリキュラム工夫を行い、いわゆる「マニュアル人間」にならないよう配慮をしています。また上記3つの学問分野の他、教育調査・統計法、その他関連する分野についても講義を提供しています。教師に限らず、家庭、地域、行政、病院、福祉施設、企業などの対人援助職にとっても、学際的アプローチは極めて重要であり、本研究科はこのような対人援助の実践家やその志望者の入学を歓迎しています。

臨床的研究の場

本研究科の重要な教育課程の1つとして、臨床教育学にとって不可欠な臨床経験の場の提供があります。その代表は「実地研究」です。臨床教育学という性格上、臨床現場での経験は「臨床の知」を得るためにも、臨床の技法をレッスンするためにも不可欠です。有職の社会人学生にとって、自らの職場は最も身近で切実な問題発見、臨床活動、研究対象となり得ますが、本研究科では多くの「実地」への参加、その観察や分析のための場を用意し、そこでの実地研究が行われています。

その他

本研究科は、幼・小・中・高等学校の教員一種免許状の所持者がそれぞれの教科の専修免許状を取得できる「課程認定」を文部科学省から受けています。また、臨床教育研究懇談会や小講演を実施して、学内外の専門家の講義と意見交換の場を設けるとともに、学外の専門家による学術講演会、臨床教育シンポジウム、国際セミナーなどを毎年開催しています。教員や学生の論文発表のため、「臨床教育学研究」や「臨床教育学研究科研究誌」を発行しています。

院生研究室



情報処理演習室



図書資料室





教授 安東 由則

研究科長

教育社会学

様々な職種、年齢の社会人が夜間の授業に集まり、互いに学び合っています。教員よりも年長の方もおられ、社会人経験が豊富な方も多く、教員としても刺激を受け、学ばせてもらっているというのが正直なところ。もちろん社会人経験の浅い方も大歓迎で、教員ばかりからではなく、幅広い学友から触発されることも多いと思います。授業見学の機会もありますので、気軽にお越しください。



教授
上田 孝俊

臨床教育実践学
教師論

私は公立小・中学校の教員をしていました。その間、大学院で学ぶ機会も得ました。児童・生徒との間で繰り広げる今日の教育実践は、教育学における最重要な課題を提起しています。それを一歩引き下がって、少し広い視野から見つめるときに、解決の方途が見えてくると考えます。実践される人々を支え、課題の先が展望できる研究活動となるようにと願っています。



教授
押谷 由夫

道徳教育学
教育学
臨床教育学

「あなたの悩みは何ですか」と問いかけて、何と応えられるでしょうか。どのように応えられようと、それはあなたの生き方とかかわっています。道徳教育とは、その生き方を人間としての在り方や生き方という視点から深く考え、子どもたちはもちろんのこと、あなた自身の未来を拓いていくものなのです。私は臨床教育学の基盤に道徳教育があると確信します。道徳教育を基盤とした臨床教育学を皆さんと一緒に創っていくではありませんか。



教授
河合 優年

発達臨床心理学
発達援助学
発達行動学

当研究科(修士課程)は夜間で、主として社会人を対象に設置されています。ゼミ生には、学校・幼稚園などの先生、看護師などの医療職、弁護士などの司法関係者、子育て支援関係者、福祉施設関係者、そして学部からのストレートマスターなど、さまざまな領域の方々が学んでいます。さまざまな視点からの意見を交換できる私どもの大学院の門をたたいてみてください。



教授
西井 克泰

児童・青年臨床心理学

児童養護施設で暮らす子どもと、発達障害(特に、自閉症スペクトラム)の子どもには、共通する特徴が見られます。そこに注目して、両者への心理療法の可能性について研究しています。自閉症スペクトラムには、心理療法は不向きで、療育が適応であるという見解が今でも根強くあります。やり方さえ工夫すれば、自閉症スペクトラムにも心理療法は適応できます。施設で暮らす子どもたちにも同じことが言えます。このことについて、一緒に学んでいきませんか。



教授
中井 昭夫

発達行動小児科学
小児精神神経学
臨床発達心理学

発達とは、遺伝的素因と胎児期からの身体性を介した環境との複雑な相互作用の連続的な変化なのですが、この環境には、いつ、誰と、どんな出会いをするかということも含まれます。当研究科で、子どもの発達を支えるひとりの大人として、リサーチマインドと高い専門性をもつジェネラリストに、また、多職種と繋がる力、繋ぐ力を身につけて欲しいと思っています。



教授
倉石 哲也

ソーシャルワーク
児童家庭福祉論

臨床で起きていることを学問するためには、理論的な裏付けやデータ分析などが重要ですが、最も大切なのはパッションではないでしょうか。臨床の場で困難を抱えている人の代弁者になり社会を少しでも良い方向に変えていく、といったパッションです。臨床教育学は、当事者の立場に立った、真摯な学問だと考えています。
No Passion, No Life!



准教授
中尾 賀要子

ソーシャルワーク
老年学

世の中には色々な人がいて、様々な考え、価値観、信条があります。みなさんが関心を持っている社会問題について、今まで交流したことのなかった異業種の方々と意見を交わし、理解する機会を設けてみませんか。日本社会の枠組みを超えたグローバルな視点を得る学術的な時間、また人として深みを増し、自己の成長を感じるひとときを大学院で共有してください。

修士課程と博士後期課程「臨床教育学分野」(夜間)を担当する教員のみを掲載しています。

博士後期課程「教育学分野」

「臨床教育学分野」(昼間)の教員については、臨床教育学研究科ホームページをご覧ください。

Open Class 授業見学(予約制・無料)

大学院の授業に対して不安を抱かれている方もいらっしゃいますので、授業の様子を知っていただくため、授業見学を実施しています。教員、在学生ともに歓迎いたしますので、気楽にお申し込みください。

2020年度 前期	月	火	水	木	金	土
6時限 18:10~19:30	生徒指導特論/ 学校と子どもの心理	発達臨床 心理学特論	臨床教育学特論/ 学校臨床学特論	臨床福祉学特論I	子ども・家庭 福祉学特論	教育病理学特論 3時限 14:00~15:20
7時限 19:40~21:00	児童・青年臨床心理学特論/ 現代教師特論	教育社会学特論		心理アセスメントの 理論と実際	人間・社会福祉学 特論	臨床教育学総論 4時限 15:30~16:50
2020年度 後期	月	火	水	木	金	土
6時限 18:10~19:30	道徳教育学特論	教育心理学特論		教育福祉特論		現代子ども理解特論 3時限 13:10~14:30
7時限 19:40~21:00	人権教育学特論/ コミュニケーション特論			障害児・者の教育と 心理	社会調査法特論	

お申し込み方法

見学希望日の10日前までに下記 ①~⑥ をご記入の上、rinkyoh@mukogawa-u.ac.jp 宛にメールを送信してお申し込みください。見学日の詳しい内容については、後日メールで連絡させていただきます。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① 氏名 | ④ 見学希望科目 |
| ② 連絡先(メールアドレス) | ⑤ 所属もしくは職業(任意) |
| ③ 見学希望日 | ⑥ 希望理由、質問等(任意) |

受付期間

前期の授業見学は受け付けていません

後期 9月16日(水)~12月19日(土)

なお、学内行事等により休講となる日や、授業進行上ご参加いただけない日もございます。ご了承ください。

詳しくは <http://rinkyoh.mukogawa-u.ac.jp/> の「授業見学」ページをご覧ください。

Open Campus オープンキャンパス

日時	2020年12月6日(日) 12:30~16:30	会場	中央キャンパス 研究所棟3階 304室・306室
内容	第1部…研究科の説明、体験授業、在校生・修了生の声 第2部…個別相談、研究発表展示ブース		

参加ご希望の方はrinkyoh@mukogawa-u.ac.jp 宛にメールを送信してお申し込みください。

詳しくは <http://rinkyoh.mukogawa-u.ac.jp/> をご覧ください。

Message 学生メッセージ

● 大学院の学びを振り返って

大学院の授業や修論をとおし、日々の業務の意味や必要性を問い、自分の考えを成長させる機会となりました。
(ソーシャルワーカー/40代女性)

学びは自分自身を見つめ直す経験となり、実践を振り返るとともに今後の目標を具体的に持てるようになりました。
(短大非常勤講師/50代女性)

授業や修論のために自ら関連した書物をたくさん読むようになり、自分なりに知識を深めようと取り組むことができました。
(教員/50代女性)

現場で抱いていた難しさや疑問を整理することができ、人としての視野が広がり、人生が豊かになったと感じています。
(保育士/50代女性)

● 受験生へのメッセージ

仕事との両立は大変でしたが、それ以上に充実した時間と経験があり、仕事の原動力となるところです。
(医療職/60代女性)

体力も精神力も使いますが、「やりたい」勉強は必ず残るものだ実感しました。挑戦することはすばらしいです。
(元教員/60代女性)

修論テーマに苦慮した私が、学びの力が育ち、自信を持つようになりました。その経験が仕事に生かされると思います。
(保育士/60代女性)

多職種の方々が集まり刺激を受けながら学び、先生のサポート力が強いので、安心して仕事と学業の両立ができました。
(教員/50代女性)

看護の世界だけでは知り得なかった 他業種の方々との交流が刺激的で楽しい



修士課程2年生
中谷 香さん
看護専門学校教員

日々の授業で他業種の方々とお話をするのがとても刺激的で、新しい世界に触れ、視野が大きく広がりました。例えば、保育園や小中学校の先生の現場の話を書く中で、それぞれの発達段階で子どもや生徒とどのように関わっているのかを知り、その得られた視点は職場で関わる学生への理解にもつながっています。仕事と並行して研究をする大変さがありますが、新しい知識を得られる純粋な喜びがあるとともに、職場とは違う世界に身を置くことが自身のいい気分転換にもなっています。

経験則を元に取り組んできた 保育の実践を論理的に裏付ける



修士課程2年生
藤巻 のり子さん
保育士

保育士として、より良い保育と後輩の指導を自分なりに考え、実践してきましたが、その取り組みが正しかったのか論理的な裏付けがほしいと思い大学院に進学。授業でのディスカッションなどを通じて、経験則を元の手掛けてきたことが間違いではなかったことを実感できるとともに、すぐに現場で活かせる新たな視点も数多く得られました。また、幼保小の連携強化が求められている中、小学校教員の方などから園児たちのその後の成長過程を伺えたことも、今後の大きな財産になりそうです。

講義はもちろん、現役教員をはじめとする クラスメイトからの学びも多い



修士課程2年生
山田 愛さん
小学校講師(特別支援学級)

保健体育の先生を目指し、武庫川女子大学健康・スポーツ学科で学びました。卒業後に教員になる道も考えましたが、もう少し幅広い分野について勉強したいと本研究科へ。先生方の講義はもちろん、一緒に学ぶ現役の教員の方々の話から学びを得ることも多く、今の特別支援学級の講師職も、小学校校長をされているクラスメイトの方のお誘いがきっかけでした。研究では、スポーツによる「子どもの自己肯定感や他者理解の醸成」について考察を深めたいと思っています。

「己を知ること・学び続けること」の 大切さを実感



修士課程2年生
彦阪 聖子さん
小学校教諭

これからの教育を担う先生方に、私がこれまでの教育実践を省察し、理論づけ客観化していくことが参考になれると願って入学しました。研究科の授業では自分史を綴り「己を知る」大切さに改めて気づきました。教育・心理・福祉の学問領域の枠を超え、人間理解の根幹に関わる問題にまで迫り、幅広く学んでいます。教育現場における様々な“?”を解釈し意味づけ、支援の臨床的なアプローチを通して考え、対人援助職としての専門性を高めたいです。ここで「学び続ける楽しさ」を実感しています。

子どもを中心に、学校と保護者の より良い関係づくりを探っていきたい



修士課程2年生
中島 しをりさん
中学校教諭

子育ての究極の目標は「自立」だといわれます。教育や心理に限らず、幅広い分野の学びができるのが本研究科の特色ですが、各分野の先生方のお話を聞き、「必要な時に必要な人に助けを求められる力」が自立であると実感しました。近年、子どもが変化しているといわれますが、そこには変動する時代の中で疲弊する大人の存在が影響しているのではないかと感じています。そうした保護者の背景を知り、学校に「助け」を求めてもらえる関係づくりの手立てを研究で探っていければと思います。

興味があった発達性協調運動障害の 第一人者の元で学べる喜び



修士課程2年生
玉井 駿也さん
理学療法士

子どもの運動発達に興味があり、理学療法士として働きながら発達性協調運動障害(DCD)について調べていました。その際によく名前が出てきたのが本研究科の教授で、第一人者の元で研究がしたいと進学を決意。医療系の大学院も考えましたが、ここでは教育や心理の視点から医療分野にもアプローチでき、複合的な視点から学べるのが魅力に感じました。親と子の愛着が形成されるパターンや、訓練などの行動を促す認知行動療法など、学んだ知見は職場でも活かされています。

修士課程の入試案内

※詳しくは学生募集要項でご確認ください。

募集人員

研究科	専攻	募集人数
臨床教育学研究科	臨床教育学専攻	16名

出願期間(最終日消印有効)

前期募集	2020年7月10日(金)～7月27日(月)
後期募集	2021年1月18日(月)～1月28日(木)

試験

	試験科目	前期試験	後期試験
筆記試験	〔専門科目〕教育学、心理学、福祉学の3分野に関する論述問題	2020年8月22日(土) 9:30～11:00	2021年2月13日(土) 9:30～11:00
	面接	2020年8月22日(土) 13:00～	2021年2月13日(土) 13:00～

現職教員・対人援助職特別選抜

■対象者

- (ア) 出願時に保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、専修学校、短期大学、大学において、週3日以上勤務を2年以上継続している保育士・教員。
(イ) 出願時に医療・福祉系の国家資格を取得・保持しており、かつ対人援助の職場で、週3日以上勤務を2年以上継続している者。

■「実践研究レポート」の提出をもって、専門科目の代替試験とします。面接は実施します。

個別入学資格審査

4年制大学を卒業していない方でも、個別入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があることが審査委員会で認められれば出願資格を得ることができます(ただし、2021年3月31日までに22歳に達しているもの)。
受付期間: 前期募集 2020年6月15日(月)～6月27日(土) 後期募集 2020年11月16日(月)～11月28日(土)

過去の入試問題

過去の入試問題は過去1年分のみ配布しています。

推薦入試について

武庫川女子大学を2021年3月卒業見込みの、教育・心理・福祉などの対人援助職を希望する者を対象とします。
出願期間、試験日は上記後期募集日と同一で、面接を実施します。

博士後期課程の入試案内

募集人員

研究科	専攻	募集人数
臨床教育学研究科	臨床教育学専攻	6名

出願期間(最終日消印有効)

募集	2021年1月18日(月)～1月28日(木)
----	------------------------

試験

	試験科目	日	時
筆記試験	臨床教育学(夜間)、教育学(昼間)、臨床心理学(昼間)の各分野より志望する分野を一つ選択(各分野の専門領域から出願)	2021年 2月20日(土)	9:00～10:20
外国語科目	英語(各分野共通問題) ※英和辞典持込可、電子辞書は不可		10:40～12:00
	口頭試問		13:20～

個別入学資格審査

個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があることが審査委員会で認められれば出願資格を得ることができます(ただし、2021年3月31日までに24歳に達しているもの)。
受付期間: 2020年11月16日(月)～11月28日(土)

長期履修学生制度

2010(平成22)年度より、「長期履修学生制度」を導入しています。修士課程を最長4年間で、博士後期課程を最長6年間で履修計画することにより、仕事や家庭と学びの両立を支援します。

※ 長期履修の場合、修士課程では2年間の授業料、博士後期課程では3年間の授業料を在籍年数で割った金額が、各年の授業料となります。
詳しくは、お尋ねください。

臨床教育学研究科の行事(2020年度予定)

※学術講演会と臨床教育シンポジウム終了後、入試説明会及び個別相談を実施します。 **2020年度は中止となりました**

学術講演会

開催については未定です。
予定が決定しましたら、
研究科ホームページでお知らせします。

臨床教育
シンポジウム

11/14(土)
(13:30~16:30/受付開始13:00)

「LGBTとAllyのための大学教育
～女子大におけるダイバーシティの実現～」

中止となりました

「マラスも必ずいる!?
～セクシュアル・マイノリティの子どもたち(仮題)～」



講師: 三橋 順子 氏
明治大学、
都留文科大学等非常勤講師
場所: 未定



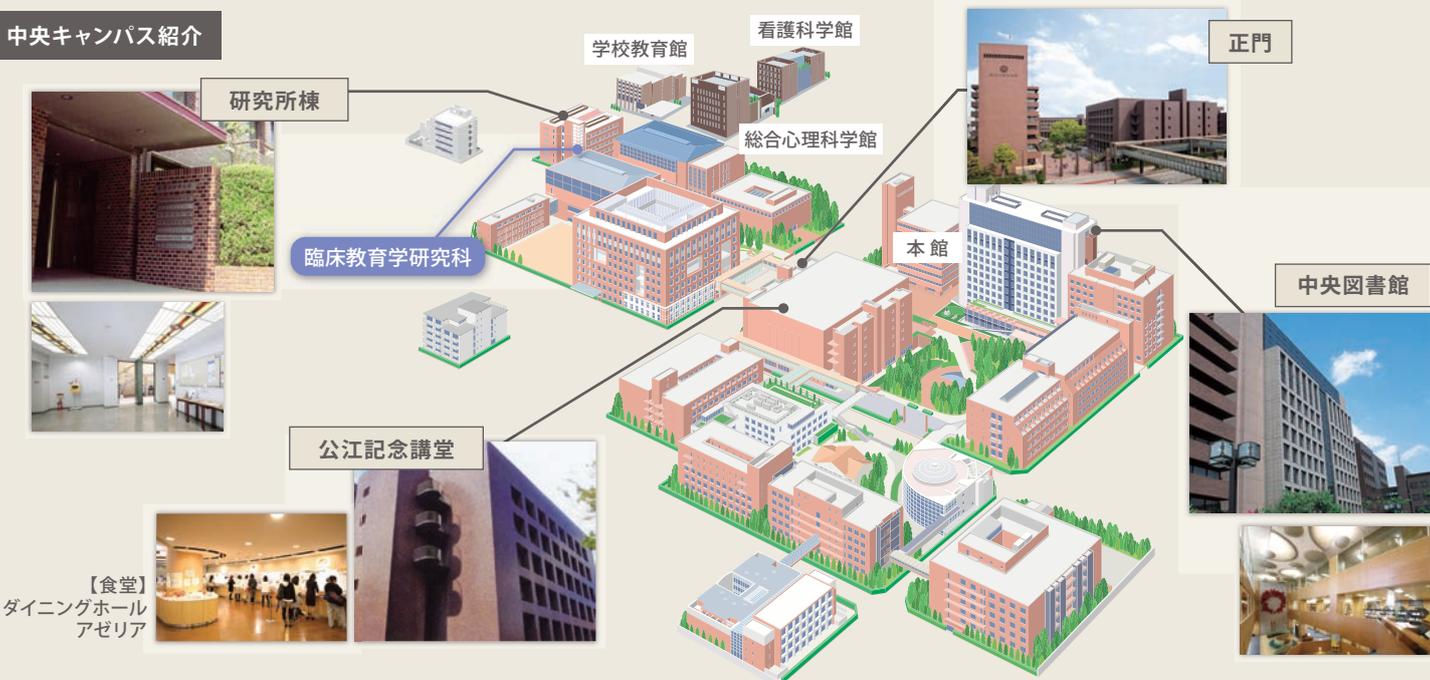
講師: 杉山 文野 氏
株式会社ニューキャンパス代表
場所: 日下記念マルチメディア館
1階メディアホール

変更になる場合がありますので、研究科ホームページでご確認ください。

その他の行事: 小講演会、臨床教育研究懇談会、国際セミナー、教師を語る会など

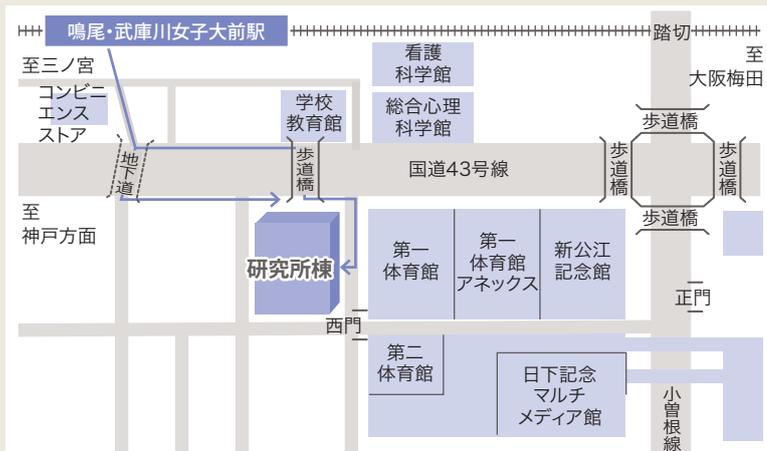
※開催についてはHP <http://rinkyoh.mukogawa-u.ac.jp/> でお知らせしています。

中央キャンパス紹介



案内地図

阪神電車 鳴尾・武庫川女子大前駅からの経路徒歩約7分



大学内に保育ルームがあります

本学では、就学支援のために夜間大学院学生も利用できる
学院内保育ルーム(ラビークラブ)が設置されています。



詳しくは、男女共同参画推進室のホームページで確認してください。

<http://www.mukogawa-gsankaku.jp>

入試に関する
お問い合わせ

武庫川女子大学大学院 臨床教育学研究科

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46 TEL 0798-45-3534 (教育研究所事務室直通) FAX 0798-45-3553

<http://rinkyoh.mukogawa-u.ac.jp/>

資料請求

武庫川女子大学 <https://edusys.net/mukogawa-u/nyushi/shiryo/>